



2024

Japan Cancer Forum

ジャパンキャンサーフォーラム
開催報告書

【主催・運営】 認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン

【後援】 厚生労働省／東京都／国立研究開発法人国立がん研究センター

【Special Thanks】 チャリティバイク・ライドイベント「C2C4C Japan」
(ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社)

Japan Cancer Forum とは

がんネットワークジャパン (CNJ) は、1991 年から活動を開始し、1996 年に NPO 法人化してからもずっと、“がん” と診断された方や、そのご家族が病気を正しく理解したうえで治療に臨めるよう、科学的根拠に基づくがん情報を広く発信してきました。

現在、1991 年当初に比べると、がん医療を取り巻く状況は進歩と複雑化しており、それに伴い、患者がより良いがん医療を受ける環境は整備されつつあります。しかしながら、SNS を含むインターネット上では個人や団体等が発信するさまざまな情報に溢れ、患者・家族は膨大な情報を取捨選択するのが難しい状況が続いています。

がんを「知り」、最新のがん医療や課題を「学ぶ」ことが重要であり、がん患者・家族・医療者、そして市民が「集う」ことで、勇気や希望が持てる場とすること、ひいては、がん対策推進基本計画(第4期)にもある「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」の実現に資することを目的として 2014 年より開催しております。

Thanks for Supporting JCF

Japan Cancer Forum の開催は無償でご登壇をいただいた講師・司会の皆様をはじめ、多くのボランティアスタッフの協力によって運営されています。今年は司会を含む講師陣 73 名と、事前準備を含め 82 名のボランティアの皆様にご協力いただきました。直前の体調不良などの欠員もある中、ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。



ご協力くださった皆様

主催・運営：認定 NPO 法人がんネットワークジャパン
 後援：厚生労働省、東京都、国立研究開発法人国立がん研究センター
 協力：株式会社資生堂、LAVENDER RING

セッション 共催

アクトメッド株式会社
 アストラゼネカ株式会社
 バイエル薬品株式会社
 国立がん研究センター希少がんセンター
 NPO 法人エンパワリング プレストキャンサー /E-BeC
 NPO 法人中皮腫サポートキャラバン隊
 NPO 法人日本小児がん研究グループ (JCCG)
 NPO 法人肺がん患者会 ワンステップ
 NPO 法人婦人科悪性腫瘍研究機構
 認定 NPO 法人希望の会
 一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会
 一般社団法人日本栄養治療学会
 一般社団法人日本小児血液・がん学会
 日本がん免疫学会

ブース 出展協力

一般社団法人 日本 MA-T 工業会
 筆文字作家 こうた屋 だいそう
 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

寄付返礼品 特別協賛

株式会社ウカ
 コンビタジャパン株式会社
 筆文字作家 こうた屋 だいそう

バナー広告 協賛

アムジェン株式会社
 アツヴィ合同会社
 ジェンマブ株式会社
 武田薬品工業株式会社
 日本セルヴィエ株式会社
 ファイザー株式会社
 ミリアド・ジェネティクス合同会社
 ヤンセンファーマ株式会社

プログラム 冊子 広告協賛

金原出版株式会社
 コロプラスト株式会社
 BeiGene Japan 合同会社
 メディカルマーケットビジョン株式会社

協力

国立がん研究センター 築地キャンパス 研究棟
 hamapro | B-Works Marketing | キャンサードライブ
 山本華漸 | 清原明音 | Yusuke hayashi_Rin

Special Thanks

チャリティバイク・ライドイベント「C2C4C Japan」
 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社)

当日会場での3,000円以上の寄付を対象に抽選コーナーを設けました



2024年開催プログラム

2024年8月24日(土) [1日目] 11:00～18:00(開場 10:30～)			Time	2024年8月25日(日) [2日目] 10:00～17:00(開場 9:30～)											
第1会場	第2会場	ポスター展示・交流会会場		第1会場	第2会場	ポスター展示・交流会会場									
オープニングセッション がん医療の現状とこれから 瀬戸 泰之 国立がん研究センター 中央病院 阿久津 友紀 北海道テレビ 後藤 悌 国立がん研究センター 中央病院	大腸がん 上野 秀樹 防衛医科大学校 司会: 小島 あゆみ ライター&エディター	ポスター(団体)紹介 キャンサードライブ NPO 法人 脳腫瘍ネットワーク (JBTA) メラノーマ患者会 Over The Rainbow	10:00	再発・転移乳がんの薬物治療 2024 上野 貴之 がん研究会有明病院 座長: 中村 清吾 昭和大学 司会: 大友 明子 <small>NPO 認定乳がん情報コーディネーター</small>	NPO 法人肺がん患者の会 ワンステップ 共催 『必ずしもウィッグを必要としない社会』とは 渡辺 貴一	ポスター(団体)紹介 NPO 法人 エンパワリングプレストキャンサー / E-BeC NPO 法人 患者スピーカーバンク がんを経験した女性のコミュニティ Colorful Ribbons									
			10:15	11:00	NPO 法人 Japan Hair Donation & Charity (JHD&C・ジャーダック) 川相 一郎		交流会・ミニセミナー(5) 特定非営利活動法人肺がん患者の会 ワンステップ NPO 法人 インターナショナルエイリアンアソシエーション								
			10:30	11:15	11:30			NPO 法人 がんと共に生きる会 司会: 長谷川 一男							
			10:45	11:30	11:45			NPO 法人 肺がん患者の会 ワンステップ							
			12:00	12:00	12:15			一般社団法人 慶應義塾大学病院 久住 真有美 望月 俊明 がん研究会 有明病院 司会: 梅田 恵 ファミリー・ホスピス株式会社							
			12:30	12:30	12:45			12:45	交流会・ミニセミナー(1) NPO 法人 腺友倶楽部 メラノーマ患者会 Over The Rainbow						
			13:00	13:00	13:15			13:15	交流会・ミニセミナー(2) がん哲学外来市民学会 がんサロン PeerPark						
			13:30	13:30	13:45			13:45	交流会・ミニセミナー(3) 神奈川骨髄移植を考える会 (BMT 神奈川) NPO 法人 シーウィズ						
			14:00	14:00	14:15			14:15	交流会・ミニセミナー(4) 国立がん研究センター 希少がんセンター						
			14:30	14:30	14:45			14:45	交流会・ミニセミナー(7) 男性乳がんの会 メンズ BC NPO 法人 GISTERS						
14:45	14:45	15:00	15:00	認定 NPO 法人 希望の会 共催 胃がん治療の今について 浜本 康夫 東京医科歯科大学 司会: 平野 孝博 認定 NPO 法人 希望の会											
15:00	15:00	15:15	15:15	15:30	15:30	15:45	16:00	16:15	16:30	16:45	17:00	17:15	17:30	17:45	18:00
アストラゼネカ株式会社 共催 より良い卵巣がん治療のために知っておきたいこと 本橋 卓 東京女子医科大学 藤間 勝子 国立がん研究センター 中央病院	血液がんの CAR-T 細胞療法 下山 達 がん・感染症センター 東京都立駒込病院 司会: 松浦 典子 <small>はまこ (多発性骨髄腫患者会代表)</small>	交流会・ミニセミナー(1) NPO 法人 腺友倶楽部 メラノーマ患者会 Over The Rainbow	一般社団法人 日本栄養治療学会 共催 栄養治療とがん 百崎 良 三重大学医学部附属病院 村田 尚道 医療法人 湧泉会 ひまわり歯科 司会: 竹内 裕也 浜松医科大学	一般社団法人 日本皮膚悪性腫瘍学会 共催 皮膚がん 山崎 直也 国立がん研究センター 中央病院 司会: 加藤 陽子 国立がん研究センター 希少がんセンター	交流会・ミニセミナー(2) がん哲学外来市民学会 がんサロン PeerPark	交流会・ミニセミナー(3) 神奈川骨髄移植を考える会 (BMT 神奈川) NPO 法人 シーウィズ	交流会・ミニセミナー(4) 国立がん研究センター 希少がんセンター	映画 「愛する人に伝える言葉」 上映会&トークショー 笠井 信輔 アナウンサー 奥坂 拓志 国立がん研究センター 中央病院 司会: 茅原 ますみ アナウンサー	漢方医学と漢方薬 上岡 保仁 東京慈恵会医科大学 司会: 福島 安紀 医療ライター	がんサバイバーの 声を聞こう! 青島 央和 / 大場 陽子 島津 智子 / 杉浦 雅昭 鈴木 彩花 / 谷山 健太郎 森田 真子 / 矢作 隆 司会: 大友 明子 <small>NPO 認定乳がん情報コーディネーター</small> 司会: 久田 邦博 <small>しあわせでずんぽグループ</small>	がんサバイバーの クロージングセッション 賢い患者になるために 山口 育子 認定 NPO 法人 ささえあい 医療人権センター COML 後藤 悌 国立がん研究センター 中央病院 長谷川 一男 NPO 法人 肺がん患者の会 ワンステップ 司会: 中井 美穂 アナウンサー	日本がん免疫学会 共催 がん免疫療法の最新情報 鳥越 俊彦 札幌医科大学 医学部 門脇 則光 香川大学 司会: 小島 あゆみ ライター&エディター	認定 NPO 法人 希望の会 共催 胃がん治療の今について 浜本 康夫 東京医科歯科大学 司会: 平野 孝博 認定 NPO 法人 希望の会	国立がん研究センター 希少がんセンター × CNJ 共催 頭頸部がん 瀬戸 泰之 国立がん研究センター 中央病院 吉本 世一 国立がん研究センター 中央病院 小村 豪 国立がん研究センター 中央病院 後藤 悌 国立がん研究センター 中央病院 司会: 加藤 陽子 国立がん研究センター 希少がんセンター	



※所属は開催当時のもの

オンデマンド配信【公開日: 2024年8月20日(火)～】					
NPO 法人 婦人科悪性腫瘍研究機構 共催 子宮頸がん 關 壽之 東京慈恵会医科大学	NPO 法人 婦人科悪性腫瘍研究機構 共催 子宮体がん 金野 陽輔 北海道大学病院	NPO 法人 婦人科悪性腫瘍研究機構 共催 卵巣がん 藤原 聡枝 大阪医科薬科大学	NPO 法人 婦人科悪性腫瘍研究機構 共催 がん治療と生活を支える 支持療法 酒井 瞳 昭和大学先端がん治療研究所	NPO 法人 婦人科悪性腫瘍研究機構 共催 子宮平滑筋肉腫 朝野 拓史 北海道大学病院	NPO 法人 エンパワリングプレストキャンサー / E-BeC 共催 乳房再建の今 森 弘樹 東京医科歯科大学 司会: 真水 美佳 NPO 法人 エンパワリングプレストキャンサー / E-BeC
一般社団法人 日本小児血液・がん学会 共催 乳児白血病治療のあゆみと 今後の展開 宮村 能子 大阪大学大学院	NPO 法人 日本小児がん研究グループ (JCG) 共催 小児の遺伝性腫瘍 服部 浩佳 国立病院機構 名古屋医療センター	NPO 法人 中皮腫サポートキャラバン隊 共催 悪性胸膜中皮腫 田中文啓 産業医科大学 病院 司会: 仁科 裕明 NPO 法人 中皮腫サポートキャラバン隊	肺がん治療最前線 後藤 悌 国立がん研究センター 中央病院	腎がん 近藤 恒徳 東京女子医科大学 附属 足立医療センター	膀胱がん 菊地 栄次 聖マリアンナ医科大学
肝臓がん 池田 公史 国立がん研究センター 東病院	胆道がん 浜本 康夫 東京医科歯科大学 大学院	すい臓がん 奥坂 拓志 国立がん研究センター 中央病院	悪性脳腫瘍 吉本 幸司 九州大学 大学院	食道がん 松田 諭 慶應義塾大学	国立がん研究センター 希少がんセンター × CNJ 共催 頭頸部がん 瀬戸 泰之 国立がん研究センター 中央病院 吉本 世一 国立がん研究センター 中央病院 小村 豪 国立がん研究センター 中央病院 後藤 悌 国立がん研究センター 中央病院 司会: 加藤 陽子 国立がん研究センター 希少がんセンター

アーカイブ動画公開について

JCF では、大切ながん医療情報を多くの方に届けるために特設サイトにてアーカイブ動画を無料で公開しています。※一部を除く

<https://www.japancancerforum.jp/programs>



開催概要

ジャパンキャンサーフォーラム（JCF）2024 は今年、11 回目の開催を迎え「再逢～知識の探求と人のつながり～」をテーマに、オンデマンド配信なども併用し規模は縮小したものの5年ぶりに会場で開催いたしました。

- 会場開催日程：2024年8月24日（土）、25日（日）の2日間
- オンデマンド配信：2024年8月20日（火）～
- 開催会場：国立がん研究センター 築地キャンパス 研究棟
- プログラム数：51
（LAVENDER RING MAKEUP & PHOTOS WITH SMILES 含む）
- 無償でご登壇頂いた講師陣：73名
- ボランティアスタッフ：82名
- 参加者総数：1200名
- ご寄付御礼：参加申込時の寄付等 466,000円
会場での寄付 155,460円

特別協力

LAVENDER RING TOKYO 2024 MAKEUP & PHOTOS WITH SMILES

今年のJCFでのMAKEUP&PHOTOSは2日間で31組のがんサバイバーが参加しました。メイクレッスン、ヘアメイクを資生堂汐留オフィスで実施し、送迎車で会場入りして撮影に臨みました。撮影会場にはこれまで参加された方達も応援にかけつけ、会場は笑顔に溢れ、大いに盛り上がりました。また、これまでMAKEUP&PHOTOSに参加された国内外合わせて261枚のポスターが会場通路に展示され、多くの参加者が足をとめて眺めていました。



収支報告

(単位：円)

	項目	金額	摘要
収入の部	参加費	0	
	セッション共催費	4,345,000	企業3社、非営利11団体
	バナー広告費	3,080,000	8社
	ブース出展費	305,500	企業3社、非営利23団体
	プログラム冊子広告費	385,000	4社
	協賛費	880,000	
	寄付	621,460	
	自己資金	2,000,000	
	(収入計)	11,616,960	
支出の部			
	1. 事前準備関係費	8,088,354	
	(内訳) 事前準備関係費	4,000,000	企画費・準備費・事前収録費等
	WEBサイト制作/更新費	2,000,000	
	業務委託費	560,000	動画収録・編集費(アーカイブ公開用含む)
	広告宣伝費	500,000	フライヤー・ポスター・当日プログラム等製作、プレスリリース・SNS広告等
	印刷製本費	221,465	フライヤー・ポスター・プログラム冊子・資料・報告書等印刷
	消耗品費	387,690	コングレスバッグ等
	通信・運搬費	414,299	アカウント契約、資材等発送、機材運搬
	交通費	4,900	事前打ち合わせ・会場下見等
	2. 当日運営関係費	2,105,660	
	(内訳) 運営費	400,000	
	業務委託費	873,684	動画撮影、スチール撮影、機材一式等
	会場設営費	339,989	会場備品等
	会議費	220,463	登壇者/運営スタッフ 飲料水・弁当等
	宿泊・交通費	242,824	
	ボランティア保険料	28,700	
	演者・司会・ゲスト謝礼	0	無償でのボランティア協力
	3. 事後処理費	1,300,000	アンケート集計・報告冊子作成・アーカイブ動画公開等
	4. 雑費	122,946	振込手数料・システム決済手数料等
	(支出計)	11,616,960	

Program Pick UP

映画「愛する人に伝える言葉」 上映会&トークショー

映画「愛する人に伝える言葉」の上映後、笠井信輔さん、奥坂拓志先生のトークショーが笠井さんの妻でフリーアナウンサーの茅原ますみさんの司会で行われました。

この映画は、人生半ばですい臓がんを宣告された主人公(ブノア・マジメル)とその母親(カトリーヌ・ドヌーブ)が、限られた時間のなか「人生のデスクの整理」をしながら、死と対峙していく過程を感動的に描いた作品です。

最初に茅原さんがこの作品の広報大使もつとめられた笠井さんに感想を尋ねると、笠井さんは、「もっとも感銘を受けたのが、主人公の主治医ドクターエド役を演じたガブリエル・サラさんが本当の腫瘍内科医であったこと」と話しました。「この映画を見て、こんな病院あったらいいなとみんな思います。この映画の主人公と母親の間でおきていることや演劇学校でおきていることはフィクション。でもサラ先生の話していること、あの病院で行われていることは本当に行われていることなんです。それがほんとに素晴らしく私はそこに一番感銘をうけました。こういうことが病院で出来るんだと思いました」と話しました。

奥坂先生は「私は医療もののドラマは嘘っぽくて白けてしまって実はあまり好きではないんですが、今回はそれがなかったです。やはりサラ先生はこの病気のことをよくご存知でしたし、彼の経験に基づいた言葉でこういう言い方もあるんだな、と自分ごとのように見ることができました」と感想を述べました。

茅原さんは自身の母親をがんで看取った経験を紹介し、当時は本人にがん告知をしないという選択もあり、本人に隠し通したことを話し、奥坂先生に「患者さんに真実を伝えるというスタンスはいかがですか」と尋ねました。奥坂先生は、「ここまで言うのかとは思いましたが、今は日本でも嘘はつけませんから、伝えるタイミングや言い方はとても気を使います」と話されました。



「映画の中では病院でタンゴを踊ったり歌ったりしていましたが、日本でもありますか」という質問に、奥坂先生は「そういうことが出来るかと思っっている医師は少なからずいると思いますが、日々の診療のなかではそう簡単ではないですね」と応え、「患者さんと向き合うがん医療とは何なのか」というテーマで2007年から始められた患者さんのための膵がん教室やサロンを紹介、それが少しずつ地方でも広がっていること、さらに拡げる計画を紹介しました。

さらに笠井さんは、ドクターエドの「旅立つ許可を与えましょう」という言葉がとても響いたと話しました。頑張っているのは本人で、周りが頑張れ頑張れというのは違う。自身も抗がん剤を経験し、とても腑に落ちた、と感想を述べると、奥坂先生は、ドクターエドが言った「戦場は彼の体の中にある」という言葉が一番強く印象に残ったと話しました。奥坂先生曰く「それはやり過ぎるなということの意味を意味して、やりすぎてしまうと返って寿命を短くしてしまうかもしれないし、苦しい思いをさせてしまいますよ」というメッセージであり、自分たちも気をつけていると実際の医療現場の様子にも触れられました。

最後に「この映画を俯瞰してみると、グループカウンセリングを毎日していたり、医療者も泣いてもいい、という話があったり、寄り添いすぎると喪失感で医療者も病むリスクを抱えている、ということなど、医療者に対してのケアについても私たちに伝えている。エンディングのシーンも病院の日常で終わり、ドラマでありながら、現実とは何かということ私たちにそれとなく教えている。ほんとに素晴らしい映画です」と笠井さんが締めくくりました。

がんとともに生きる知恵

このセッションでは、がんとともに生きていくために大切な3つのテーマについて、CNJ理事でもある梅田恵司会のもとご講演いただきました。

最初に「がん罹患後の家計の変化と「処方箋」と題して、黒田尚子さんからお話いただきました。罹患による家計への影響に対する処方箋のポイントは「収入をふやす」「支出をへらす」「資産運用する」の3つ。そしてそれを困り度に応じてすぐにやらなければいけないのか、それとも予防のためにやっておくものかに分けて考えることが大事と、具体的な例を挙げて説明くださいました。QAセッションで質問のあったがん経験者でも入れるがん保険については、4つの保険を比較した表を提示し、自分がその保険の加入条件に合致しているかが大事だと話されました。

次に久住真有美さんより、「おひとりさまのがん患者さんの備え」についてお話いただきました。例えば単独世帯でペットを飼っている方ががんに罹患したとき、「動物病院、ペットシッター、ペットホテルを使用した」「自分で世話が難しくなったときに備え、友達にサポートをお願いした」「保護団体への相談も選択肢かもしれない」など実際の相談の具体例を挙げて説明くださいました。ピンチを救うヒントとしては、まず正しい情報を入手し、精神的なサポーターを手に入れ、そして対処方法を見つける。周囲のひとに相談しながら自分自身で取り組むこと、時には他の人に頼ることも大切



であり、また頼る人を内容により分散することも大事という言葉が印象に残りました。

最後に、望月俊明先生より、「がんとともに災害を乗り越える知恵」についてお話いただきました。まず東日本大震災におけるがん患者さんに生じた困難の共有から始まり、災害に備えて自分のできる準備についてのお話へ続きました。普段から病名、アレルギー情報をメモしておくこと、また災害時には処方箋が発行されなくてもお薬手帳があれば薬を出してもらえるため、お薬手帳、さらにバックアップとしてスマホで撮影しておくことが重要です。また、抗がん剤の治療を受けている人は、薬剤名、前回の治療日、血液検査の結果、そして治療が多少遅れても大丈夫なのか、絶対に遅れてはいけないのかを知っておくべきとのことでした。

短い時間のなか、具体的かつ有意義な多くの情報を得ることができるセッションでした。





骨転移治療とがんによる 運動機能の低下 (がん口コモ)

「がん口コモ」とは、がんの影響で移動機能が低下した状態のことを指します。がんになると、がん自体のみならず、治療によっても運動機能が低下しますが、治療に専念するばかりに必要以上に安静にしてしまうことで、がん患者さんのQOL (Quality of Life) が落ちてしまいます。

本講演では、河野博隆先生により、運動機能を維持することで、がん患者さんが自立した生活を送ることができ、人間としての尊厳を保つことができるため、ぜひ整形外科を活用してほしいとお話がありました。寝返りもできなかつたががん患者さんが整形の手術を受けることで歩いて帰れるようになった症例も紹介されました。がん診療においては、骨転移のみならず、運動器全般の適切な管理によって、がん患者さんのQOLとQOD (Quality of Death) が大きく変わることをお話いただきました。



漢方医学と漢方薬

漢方の役割は、不定愁訴に対応したり、西洋医学の補完医療 (抗がん剤の副作用軽減) であったり、慢性疾患、高齢疾患などの薬剤量を削減したりすることです。

本講演では、上園保仁先生により、がん患者さんの体調維持や抗がん剤の副作用に処方される漢方薬である「六君子湯」「半夏瀉心湯」「加味帰脾湯」のそれぞれの効能、そしてそれがなぜ副作用などに効くのかのエビデンスが示されました。

「六君子湯」は、食欲不振時に食欲亢進ホルモン「グレリン」の分泌を促進できる、現在唯一の薬剤です。また、「半夏瀉心湯」は抗がん剤の副作用である口内炎の治療を促します。さらに、身体の調子を整え、不安感も取ることのできる「加味帰脾湯」は、愛情ホルモンと言われるオキシトシンの作用を高めることが研究でわかってきたとお話がありました。



ポスター展示 & 紹介・ 交流会 (ミニセミナー)

初の試みとして患者団体等のポスター展示 & 紹介と交流会 (ミニセミナー) を行いました。両日とも大勢の方がポスター紹介を熱心に聞いて下さいました。紹介時間の後もポスター会場にお越しになり、ゆっくり自分のペースで見て回り情報収集をされる方もいました。

交流会は2日間で12団体が開催し、大いに盛り上がりました。患者サロンやヨガの体験、爪の悩み相談やボディーパーカッションLIVEなど内容は多岐にわたり、中には、専門医を招き、直接先生に質問ができるものがあり、患者さんにとってはとてもためになる交流会もありました。

アンケートでは「ブースでお話を聞いたあとに、実際にその団体の交流会に参加できるのがよい」「経験者の話をリアルに聞いたり話したりできる場はやはり必要」などのお声をいただき、皆さん満足されているようでした。



当日ブース展示

2日間で30団体が出展しました。以前から気になっていた団体の活動を聞く機会や、闘病中に役立つ情報や商品を得たり、体験型のブースがあったり、と出展者も参加者もさまざまにぎわっていました。当日のブース出展で初めて活動を知り、感銘を受けて会員になりました、という方も。

患者さん同士の再会の場となり盛り上がる一方で、初めて参加された方を温かく迎え入れるブースもあり、時には出展団体同士のつながりもみられ、5年ぶりのリアル開催を存分に感じられるエリアでした。

抽選会の景品にもなり、多くの方にお立ち寄りいただいた筆文字作家こうた屋だいぞうさんは、丁寧にお話を伺いながら、名前入りのメッセージを描いてくださいました。大切な方への贈り物として依頼し、読み上げたメッセージに感極まる方も。



ブース出展者の声・ブースへの感想

スタンプラリー

ちょっと気になる展示ブースに足を運びやすく、さまざまな団体の活動を知ってもらうために、シールを集めるスタンプラリーを実施しました。

全てのミッションをクリアした方に実施した抽選会では、思わぬ賞品がつぎつぎ当たり、大いに盛り上がりました。



展示ブース訪問者の声

このイベントで興味を持ち、後日施設を訪問させていただきました。

展示だけでなく参加型なのが良かった！

以前から興味があった団体の方と直接話せたのが良かった。

ブース出展者の声

初めての参加でした。がん経験者さんたちと直接お話しでき、他の支援団体さん達の熱気を感じる大変有意義な時間でした。

リアル開催は出会いや発見があり、出展者、来場者ともに活気がでてよいと思いました。



ほかのブースを見て、色々な企画ができるとわかり、次回に向けての夢がひろがった。

ブース出展一覧（オンライン含む）

当日ブース 展示

一般社団法人 日本MA-T工業会／筆文字作家 こうた屋 だいそう／ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
 一般社団法人アピアランス・サポート東京／一般社団法人神奈川県がん患者団体連合会／一般社団法人食道がんサバイバーズシェアリングス
 一般社団法人ピアリング／一般社団法人みんなのレモネードの会／NPO法人インターナショナルネイルアソシエーション
 NPO法人ジャパンハート／NPO法人GISTERS／NPO法人腺友倶楽部（前立腺がん患者・家族の会）／NPO法人肺がん患者の会ワンステップ
 神奈川骨髄移植を考える会／がん経験者のためのヨガ～NPO法人シーウィズ／がんサボ喫茶止まり木／がんサロンPeerPark
 がん哲学外来市民学会／がんフォト＊がんストーリー／すい臓がん患者と家族のおしゃべりサロンぶどうの木／精巣腫瘍患者友の会(J-TAG)
 男性乳がんの会 メンズBC／公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン／国立がん研究センター希少がんセンター
 チーム防がんMAP広めたい／頭頸部がん患者と家族の会 Nicotto／肉腫（サルコーマ）の会たんぼぼ／認定NPO法人希望の会
 認定NPO法人マギーズ東京／BEC・CIN・CCN・メンズBC 同窓会&紹介デスク

当日ポスター 展示

NPO法人エンパワリング プレストキャンサー/E-BeC／NPO法人患者スピーカーバンク／NPO法人脳腫瘍ネットワーク（JBTA）
 がんを経験した女性のコミュニティ Colorful Ribbons／キャンサードライブ／メラノーマ患者会 Over The Rainbow

オンライン ブース出展 のみ

一般社団法人ウィメン&キャンサー／一般社団法人がんと働く応援団／一般社団法人がん患者ケアレンツ
 一般社団法人くすりの適正使用協議会／一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン／一般社団法人BCY Institute Japan
 一般社団法人まめつつ／NPO法人あいおぶらす／NPO法人がんと暮らしを考える会／NPO法人京都ワーキング・サバイバー
 NPO法人血液患者コミュニティももの木／NPO法人tomoniなごや／がん哲学外来カフェ柿田川／がん患者ギフト
 胸腺腫・胸腺がん患者会 ふたつば／京都乳がんピアサポートサロン～fellows～／血液がん患者・家族の会～MUSUBI～
 公益財団法人日本対がん協会／骨髄腫患者と家族の会福岡オリゾン／若年がん患者会ローズマリー／若年性がん患者団体 STAND UP!!
 腎がん患者と家族の会 そらまめの会／膵臓がん患者と家族の集い／膵がん患者夫婦の会／前立腺がん患者会PSA北海道
 はまっこ（多発性骨髄腫患者・家族の交流会）／みんなでつなげる乳がん患者会 ASHARE

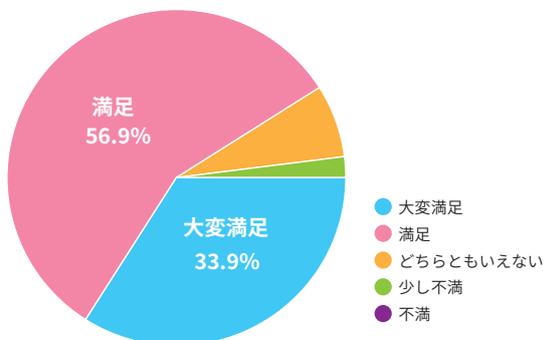


Survey Result

現地参加者239名・オンデマンド配信視聴者44名からアンケートへの回答をいただきました。

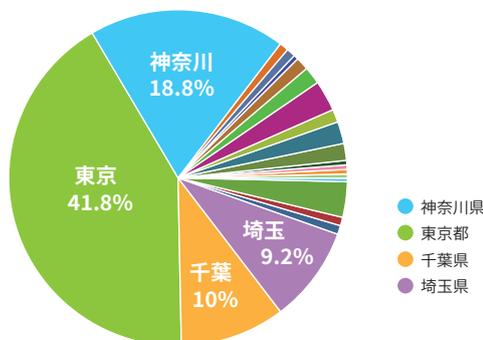
参加していかがでしたか

(n239)



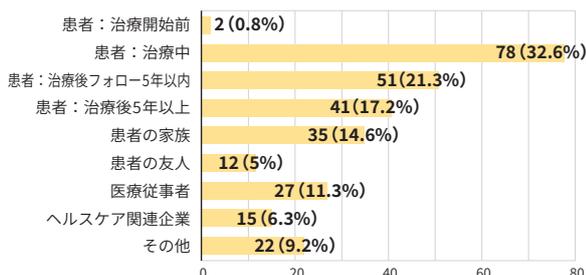
お住まいの都道府県を教えてください

(n239)



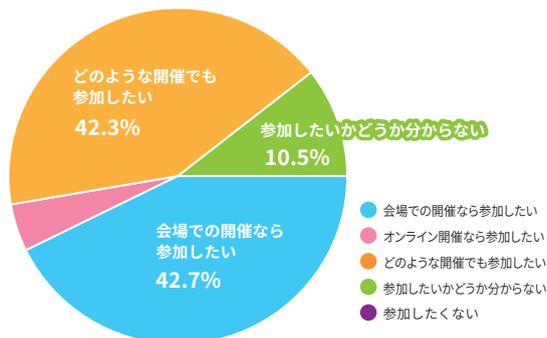
あなたのお立場を教えてください (複数回答可)

(n239)



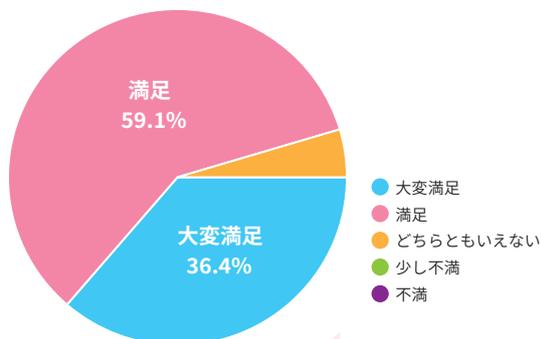
来年も参加したいと思いますか？

(n239)



オンデマンド配信での視聴について感想を教えてください

(n44)



現地参加

全体的に分かりやすく、新しい情報の入手や頭を整理することができた

活気があり衝撃的でした！情報共有、勇気づけ、不安や介護疲弊軽減に繋がる機会であると認識できました

色々な活動を知ることができ、やはり対面の方が良いと思いました

オンライン

がん種ごとの興味ある講演を視聴できて大変勉強になりました

2025年8月2日(土)・3日(日) <https://www.japancancerforum.jp/>
 国立がん研究センター築地キャンパス研究棟 ※詳細は、順次掲載予定です。

2025年
開催
決定!!

2025年のJCF開催趣意書をご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。 <https://www.cancernet.jp/mail>

